

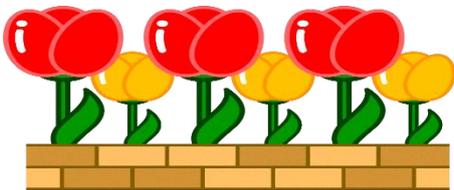
図書館だより

2022年 4月 351号
 釧路市音別町ふれあい図書館
 編集者/美村由美子 ☎6-3435

昨年度は大変お世話になりました。
 本年度もよろしくお願いいたします。

今月のふれあい DAY は、
映画会を行います。
 『すみっこぐらし』です。
 日時：4月23日 13:00～
 場所：2F 視聴覚室

*新型コロナウイルス感染状況によっては、
 イベントなどは中止になる可能性もございます。



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8 ★ 出前のおはなし会	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 ★ ふれあい DAY
24	25	26	27	28	29	30

【開館時間】午前10時～午後6時 【休館日】月曜日、第3土曜日・日曜日、祝祭日

雑誌コーナー

音別町ふれあい図書館には14冊の雑誌を設置し、貸出も行っています!! (最新号は貸出不可です)



ランキング (2022.2月号)

- ①NHK きょうの料理
- ②すてきにハンドメイド
- ③文藝春秋
- ④婦人公論
- ⑤日経トレンディジャーナル・ESSE (エッセ)

釧路市内の図書館に設置しています。
 人気のある雑誌は・・・
 「ハルメク」 「暮らしの手帖」
 「クロワッサン」等々あります。
 雑誌の予約は一人3冊までOKです!!

(釧路市内全体での貸出状況から把握しました 音別町ふれあい図書館にもあります。)

◎今月は【希望】というタイトルが付く本を集めてみました!!

- ◎一般書・実用書からは
- ・希望の政治
 - ・希望の一滴

- ◎小説からは
- ・希望が死んだ夜に
 - ・希望の獅子
 - ・希望〈仮〉



是非、手に取ってみてください。

リクエスト賜ります!

この作家さんのシリーズが読みたい! などのご希望がありましたら、遠慮なくご相談ください。



↑本の検索、予約はこちらから↑



↑ふれあい図書館 HP ↑



4月新刊紹介

○一般・実用書

「小学生の勉強は習慣が9割」

菊池 洋匡

『宿題は明日やる』とすぐ先送りする
『なぜ勉強するの?』と不満をいう など・・・世界屈指の研究機関の実験から判明したメソッドで全部解決!

「うんち学入門」

増田 隆一

「くさい」ことにも意味がある! うんちとは・・・進化の結晶にして生存戦略の武器だった!

(他にも揃えております。)

○小説

「塞王の楯」

第166回直木賞受賞作

今村 翔吾

「絶対に破られない石垣」を造ろうとする職人の匡介。そこにたちふさがるのは、「どんな城をも落とす鉄砲一誇りをかけた職人同士の戦いを描く、圧倒的戦国小説!

「おわかれはモーツァルト」

中山 七里

この指は、引き金を引く指じゃない。鍵盤に触れる指だ。殺人×音楽×謎解き (他にも揃えております。)

○児童書

「免疫のひみつ」

「恐竜世界サバイバル戦記」

「だいとかいのおばけずかん」

「びわ色のドッジボール」

「もしも、きみのクラスに織田信長がいたら」

○絵本

「トイレでできた」

「アブナイこうえん」

「すみっこぐらしをさがせ」

「ほしじいたけ ほしばあたけ」

「ピンクはおとこのこのいろ」



今月の“おすすめ”作家

小路 幸也(1961年4月17日 北海道旭川生まれ)

「空を見上げる古い歌を口ずさむ」(2003年) 「東京公園」(2006年)

「つむじタフル」(2012年) 「札幌アンダーソング」(2014年)

「怪獣の夏はるかな星へ」(2015年)etc.

是非、手に取ってみてください。



新刊紹介



(一般教養・実用書)

- 増田 隆一 「うんち学入門」
- 本間 龍 「東京五輪の大罪」
- 菊池 洋匡 「小学生の勉強は習慣が9割」
- 倉原 優 「新型コロナ病棟ナース戦記」
- 亀井 静香 「永田町動物園」
- 久本 雅美 「みんな、本当はおひとりさま」
- ジン ミニョン 「ナマケモノのように生きたい」
- 高橋 慈子 「はじめての今さら聞けない
スマートフォン入門」
- 中村 浩志 「野鳥の生活」
- 柿内 尚文 「バナナの魅力を100文字で
伝えてください」
- 坪内 政美 「もっと鉄道珍百景」
- 香山 リカ 「なぜ眞子さまのご結婚は
バッシングされたのか」
- 土切 敬子 「おしゃべりな台所道具」

(絵本)

- 「トイレでできた」
- 「アブナイこうえん」
- 「すみっこぐらしをさがせ」
- 「ほしじいたけ ほしばあたけ」
- 「ピンクはおとこのこのいろ」



(小説)

- 相場 英雄 「マンモスの抜け殻」
- 一穂 ミチ 「パラソルでパラシュート」
- 今村 翔吾 「塞王の橋」**
- 川崎 秋子 「絞め殺しの樹」
- 川村 元気 「神曲」
- 北方 謙三 「チンギス紀 12」
- 黒川 博行 「熔果」
- 今野 敏 「探花」
- 知念 実希人 「真夜中のマリオネット」
- 中山 七里 「おわかれはモーツァルト」
- 馳 星周 「黄金旅程」
- まさき としか 「彼女が最後に見たものは」
- 横関 大 「ミス・パーフェクトが行く！」



(児童書)

- 「免疫のひみつ」
- 「恐竜世界サバイバル戦記」
- 「だいとかいのおばけずかん」
- 「びわ色のドッジボール」
- 「もしも、きみのクラスに織田信長がいたら」



☆小説から

第166回直木賞受賞作

今村 翔吾

「塞王の橋」

「絶対に破られない石垣」を造ろうとする職人の匡介。そこに立ちふさがるのは、「どんな城をも落とす鉄砲」一誇りをかけた職人同士の戦いを描く、圧倒的戦国小説！